

3 校務DX計画

○提言

- ・「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」（令和5年3月）
- ・「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）
～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」（令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）

○チェックリスト

- ・「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」（令和5年9月）

※点検やチェックリストによる自己点検の結果を踏まえつつ、チェックリストに示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題や、その解決策を具体的に記載すること。

クラウドツールを活用した教職員間の情報交換

クラウド環境を活用した校務DXの積極的な推進・会議資料のペーパーレス化

職員のGoogleチャットを令和4年度より使用できるよう設定し、各学校活用がさかんになってきている。今年度よりICTリーダーのブロックごとのチャットを作成し、各学校が気軽に情報共有できるようにしている。各学校の事例の共有と共に、クラウドで活用したテンプレートの共有等を活性化していく。

校務処理の負担軽減

「活用事例のシェアリング」として、各校の活用事例を1000事例以上集めた。活用事例の中には、学校アンケートに関するもの、授業中の小テストに関するものなどあり、そのテンプレートが共有されている。教科や学年で分類され、児童生徒の実態に応じて活用できるようにしている。

学校と保護者間の連絡手段のデジタル化

「野田市ICTチェックリスト」において、各学校が自校のDXの状況に関する質問にフォームで回答し、フィードバックを得ることが出来るようにする、

そのフィードバックの中には、全国の各質問項目の結果の割合や、「活用事例のシェアリング」で集めた、好事例のアプリへのリンクをつけ、各学校が自校の状況に応じて、活用できるようにする。

不合理な手作業を一層

FAXによる交信の廃止、書類への押印廃止

校務支援システムやクラウドサービスを有効活用し、できるものは、押印・署名の廃止を進めている。